

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-076961

(43)Date of publication of application : 14.03.2003

(51)Int.Cl.

G06K 19/00

B42B 4/00

B42D 15/10

(21)Application number : 2001-264142

(71)Applicant : TOPPAN PRINTING CO LTD

(22)Date of filing : 31.08.2001

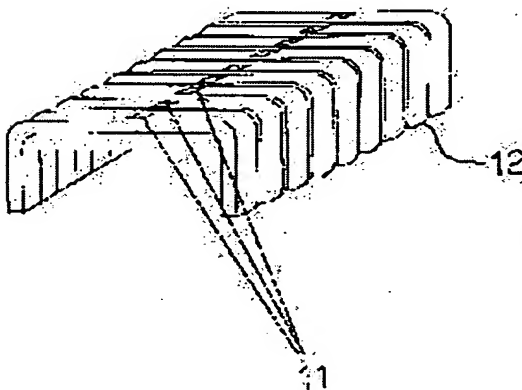
(72)Inventor : EDA HARUHIKO

(54) BINDER WITH NON-CONTACT TYPE IC CHIP

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a binder to which a non-contact IC chip is attached, for which the non-contact IC chip is attached with a simple means, the need of a special attaching place is eliminated and a danger of falling is reduced.

SOLUTION: The binder (12) is provided with the non-contact type IC chip (11) capable of reading or reading and writing data without contacting. The binder (12) is, for example, a staple, a filing metal fitting, a clip or a binding cord. The IC chip (11) can be in a state of the IC chip, in the state of a coin shape for which the IC chip is buried in a resin or in the state of an IC tag for which an IC is attached to a base material composed of a thermoplastic resin film, metal foil, paper or the laminated body.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-76961

(P2003-76961A)

(43) 公開日 平成15年3月14日 (2003.3.14)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード (参考)
G 0 6 K 19/00		B 4 2 B 4/00	2 C 0 0 5
B 4 2 B 4/00		B 4 2 D 15/10	5 2 1 5 B 0 3 5
B 4 2 D 15/10	5 2 1	G 0 6 K 19/00	Y

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2001-264142(P2001-264142)

(22) 出願日 平成13年8月31日 (2001.8.31)

(71) 出願人 000003193

凸版印刷株式会社

東京都台東区台東1丁目5番1号

(72) 発明者 江田 春彦

東京都台東区台東1丁目5番1号

凸版印刷株式会社内

Fターム (参考) 2C005 MA40 MB03 NA06 NB01 TA22

5B035 BA09 BB09

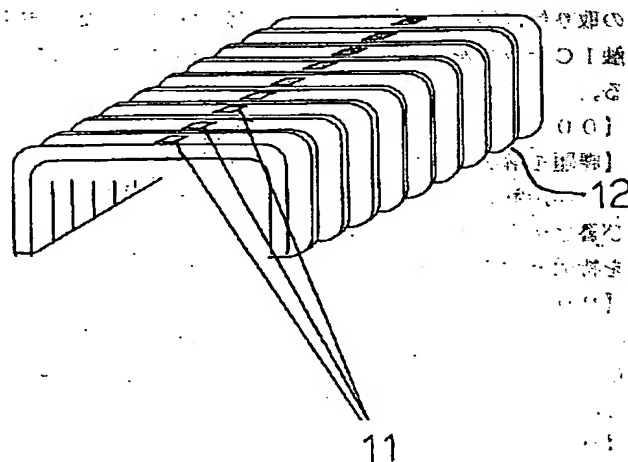
(54) 【発明の名称】 非接触方式 I C チップ 付き 綴じ具

(57) 【要約】

【課題】 非接触 I C チップ が 簡単 な 手段 で 取 り 付 け ら れ、かつ、特別の取付け場所を必要とせず、脱落の危険の少ない非接触 I C チップ を 取 り 付 け た 綴 じ 具 を 提 供 する こと。

【解決手段】 非接触方式でデータの読み出しあるいは読み出しおよび書き込みが可能な非接触方式 I C チップ

(11) を 備 えた 綴 じ 具 (12)。綴 じ 具 (12) と し て は、例 えば、ス テ イ プ ル、フ ァ イ ル 金 具、ク リ ッ プ、綴 じ ひ も な ど が あ げ ら れ る。I C チ ッ プ (11) は、I C チ ッ プ の 状 態 で も、I C チ ッ プ を 樹 脂 中 に 埋 め 込 ん だ コ イ ン 状 の 状 態 に し て も、熱 可 塑 性 樹 脂 フ ィ ル ム や 金 属 箔、紙、これら の 積 層 体 か ら な る 基 材 に I C を 取 り 付 け た I C タ グ の 状 態 に し て も、い ず れ で あ っ て も か ま わ な い。



【特許請求の範囲】

【請求項1】非接触方式でデータの読み出しあるいは読み出し及び書き込みが可能な非接触方式ICチップを備えたことを特徴とする非接触方式ICチップ付き綴じ具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、非接触方式でデータの読み出しあるいは読み出し及び書き込みが可能な、非接触方式ICチップを備えた非接触方式ICチップ付き綴じ具に関する。

【0002】

【従来の技術】複数枚（複数個）の同一の物品、又は別種の物品を一つにまとめる器具の一つに綴じ具がある。綴じ具としては、ステイプル、ファイル金具、クリップ、綴じ紐などがあげられる。

【0003】例えば、複数枚の資料をファイル金具等で綴じた書類は、保管場所から一旦移動させてしまうと、再度資料を探す作業に必要以上に時間をとられ、あるいは資料が紛失してしまうこともあった。

【0004】このような手間をなくするための一手法として、熱可塑性樹脂フィルムや金属箔、紙、あるいはこれらの積層体からなる基材にICチップを取り付けたICタグと呼ばれるラベル状のタグの状態にして、このICタグを資料等の表面に貼り付けるなどして資料の管理をしている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、ICタグを資料等の物品に添付する方法にあつては、ICタグを添付するための添付場所の確保が必要であり、また、添付という作業の形態からくる手間がかかる。

【0006】そこで本発明の課題とするところは、非接触ICチップが簡単な手段で取り付けられ、かつ、特別の取り付け場所を必要とせず、脱落の危険の少ない非接触ICチップを取り付けた綴じ具を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明の請求項1の発明は、非接触方式でデータの読み出しあるいは読み出し及び書き込みが可能な非接触方式ICチップを備えたことを特徴とする非接触方式ICチップ付き綴じ具である。

【0008】このように、綴じ具に非接触方式ICチップが取り付けられているので、被装着物に非接触方式ICチップを取り付けるための特別の場所の確保を必要としない。

【0009】

【発明の実施の形態】本発明の非接触方式ICチップ付き綴じ具を一実施形態に基づいて以下に詳細に説明する。本発明の非接触方式ICチップ付き綴じ具は、例えば、図1に示すように、綴じ具（12）に非接触方式IC

チップ（11）を備えた非接触方式ICチップ付き綴じ具である。

【0010】非接触方式ICチップ（11）は、ICチップ内のデータを少なくとも読み出すことができるものであり、好ましくは、読み出し及び書き込みが可能なICチップである。書き込みができることにより、綴じ具として被装着体を使用する前に、あらかじめ、あるいは、綴じ具として被装着体を使用した後等に、新たに情報を書き込んだり、付加情報を追記したり、情報を書き換えたりすることが可能になる。

【0011】また、ICチップ（11）は、文字通りICチップの状態でも、ICチップを樹脂中に埋め込んだコイン状の状態にしても、熱可塑性樹脂フィルムや金属箔、紙、これらの積層体からなる基材にICを取り付けたICタグの状態にしても、いずれであってもかまわない。綴じ具の状態に応じて、適宜に選択できる。

【0012】

【実施例】以下実施例により本発明を詳細に説明する。〈実施例1〉綴じ具（12）としてステイプルを用いた場合について詳述する。ICチップを取り付ける場所は、図1に示すようにステイプルの外側でもよいが、ステイプルを用いて綴じる際の治具が接触する場合もあるため、内側にしてもよい。

【0013】ステイプルの材質は、金属、プラスチックのどちらでも構わないが金属のステイプルはICの電波の発信に不利ではあるが、金属との接点を絶縁とすることにより解決が可能であり、金属部のアンテナとして利用してもよい。また、プラスチックのステイプルであれば金属による電波の発信障害がなくなり、さらに、ステイプルの成形時にICチップを埋め込んで装着することができ、外部からの力に対するICチップの保護も可能となる。

【図解】

【0014】〈実施例2〉綴じ具（12）としてファイル金具を用いた場合について詳述する。ファイル金具はファイルから分離可能な金具であればよい。

【0015】そのほか綴じ具（12）としてクリップ、綴じひもなどが例示できる。

【0016】

【発明の効果】上記のように、本発明の非接触方式ICチップ付き綴じ具を使用することにより、ICチップの添付場所の制限がなくなるとともに、綴じ具で綴じるだけで、被装着体に添付することができ、作業の手間がかからない。文書等の資料の綴じ具として使用することにより、各資料の資料内容の整理、場所の管理、特定などが可能となり、資料を探す作業時間の低減、内容の把握などが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の非接触方式ICチップ付き綴じ具の一実施例を示す、斜視説明図である。

【符号の説明】

11・・・非接触方式 ICチップ

12・・・綴じ具

【図 1】

